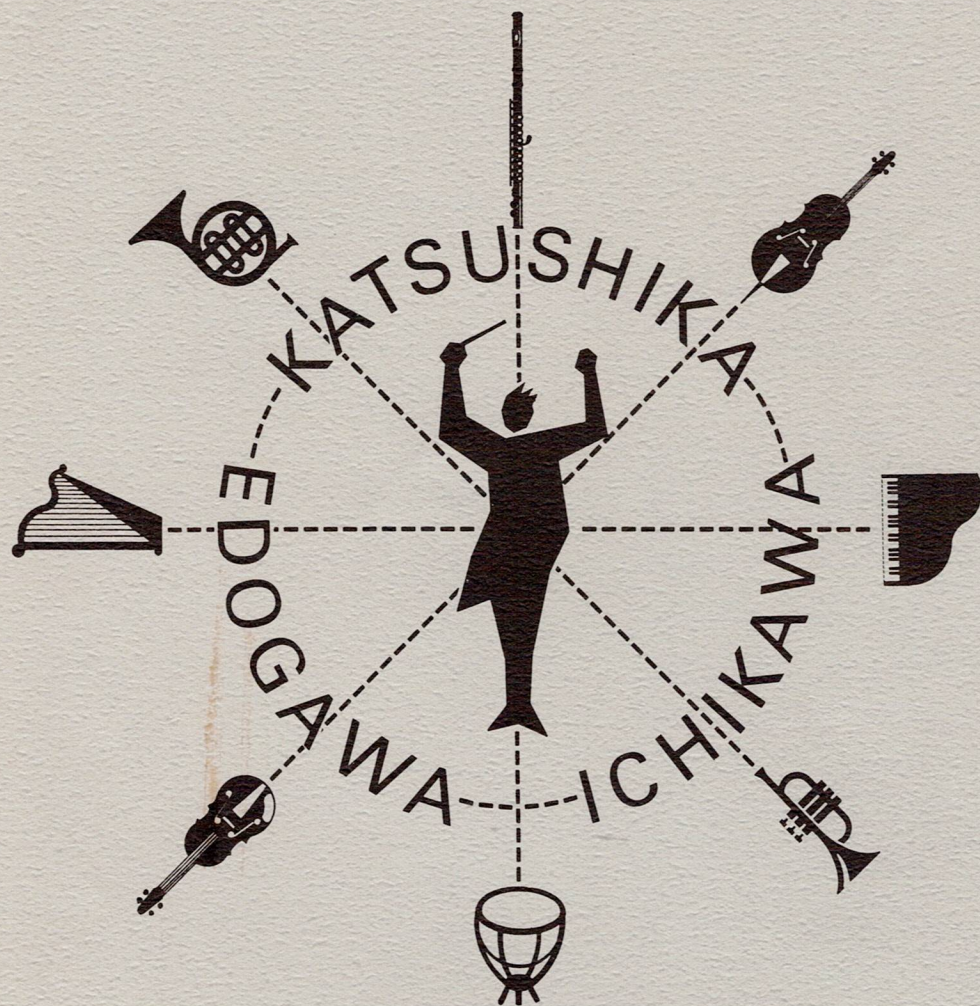


RIVERSIDE ORCHESTRA FESTIVAL



リバーサイド・オーケストラ フェスティバル

1994年3月27日(日) 14:00開場 14:30開演

RIVERSIDE ORCHESTRAL FESTIVAL



ごあいさつ

本日は、「リバーサイド・オーケストラ・フェスティバル」にご来場いただきまして、誠にありがとうございます。

この催しは、日頃「わがまちのオーケストラ」として活躍中の葛飾フィルハーモニー管弦楽団と、同じように各地域の中でめざましく活躍されている近隣区市のアマチュアオーケストラとが一堂に会して、その交流の中から更なる発展を期すべく企画いたしました。

従来、アマチュアオーケストラの交流、とりわけ都県を越えての交流の機会は非常に少なく、本日このように3区市のオーケストラが合同演奏する機会が実現できましたことは、わが区の文化活動発展にも大いに寄与するものと確信しております。

ご来場の皆様には、どうか各オーケストラの熱演をお楽しみいただきますとともに、今後も暖かいご声援を送ってくださいますようお願いいたします。

最後に、1年間にわたって事前の準備にご尽力いただいた各楽団役員はじめ、後援いただいた各区市に厚く御礼申し上げます。

指揮者

市川交響楽団指揮

津田雄二郎

Yujiro Tsuda

東京芸術大学器楽科1980年卒、米国カーチス音学院に留学、室内楽をM.D.スチュワート（フィアデルフュア交響楽団）、トロンボーンをジョー・アレッシ（ニューヨークフィルハーモニック）に師事したほか、指揮：佐藤功太郎、大友直人 T b：伊藤清の各師に師事。

現在、パッサンカントータオーケストラ、市川交響楽団、慶応義塾ウインドアンサンブル、鎌ヶ谷高校合唱部の指揮者を勤めている。

江戸川フィルハーモニーオーケストラ指揮

三矢幸子

Sachiko Mitsuya

東京生まれ。東京芸術大学卒。オーボエを似鳥健彦氏、指揮法を高階正光氏、秋山和慶氏に師事。フリーのオーボエ奏者として、またキ・モワ・オーボエアンサンブルのメンバーとして、さらに東京レディースオーケストラの指揮者としても活躍。87年より成田フィルハーモニー常任指揮者をつとめるほか、多くのアマチュアオーケストラ、合唱団の指導に意欲的に取り組んでいる。

葛飾フィルハーモニー管弦楽団

及び

合同演奏指揮

吉川 清

Kiyoshi Yoshikawa



国立音楽大学卒業。指揮を前田幸市郎、山田一雄、作曲・理論を島岡譲、声楽を鷺崎良三、波多野靖祐の各氏に学ぶ。東京ゾリステン、神奈川フィル、名古屋市民管弦楽団、ラス・ケルダス弦楽合奏団、慶応義塾高校ワグネルソサエティ・オーケストラ、学習院OBオーケストラ、同合唱団、東京合唱団、鎌倉グロリア少年合唱団、女性合唱団横浜コール・フリージア、名古屋パッサンカントータ、船橋ハルモア混声合唱団等の指揮を手がけている。

新作曲グループ同人、「ひらけボンキッキ」等のTV、ラジオの録音に活躍。昭和59年、NHK交響楽団で研修。名古屋工業大学管弦楽の米国演奏旅行に指揮者として同行。その後南西ドイツ、フランスに遊学。文化交流で米国テネシー州より名誉州民、各都市より名誉市民に選ばれている。ディアベリの田園ミサ曲の日本初演や若い作曲家の初演、H. リリング氏や、W. エームス氏をはじめとする海外演奏家との共演も多い。現在、学習院講師。

演奏曲目

R. ワークナー

楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」前奏曲

指揮/吉川 清

葛飾フィルハーモニー管弦楽団



P. I. チャイコフスキー

幻想序曲「ロメオとジュリエット」

指揮/津田雄二郎

市川交響楽団



P. I. チャイコフスキー

「白鳥の湖」から

指揮/三矢幸子

江戸川フィルハーモニーオーケストラ

休憩

A. ドヴォルザーク

交響曲 第9番 ホ短調「新世界より」

I Adagio

II Largo

III Scherzo: Molto vivace

IV Allegro con fuoco

指揮/吉川 清

3オーケストラ合同編成

曲

目

解

説

楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」 前奏曲 WWV96

R. ワーグナー

ドイツ・ロマン派の大作曲家であるリヒャルト・ワーグナー(1813~1883)が1867年に完成させた楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」は、16世紀中頃のニュルンベルクを舞台にして、民衆芸術への賛美を高らかに歌い上げたオペラです。

全曲は3編からなる大作ですが、この第1幕への前奏曲は、それ自体がオーケストラのレパートリーとして高い人気を集めています。雄大でドラマティックなこの曲は、「名歌手の動機」に始まり、「愛の情景の動機」から「行進の動機」、「芸術の動機」が加わり、さまざまなテーマがからまりつつ次第に大きなクライマックスを形づくっていきます。

2 幻想序曲 「ロメオとジュリエット」

P.I. チャイコフスキー

幻想序曲「ロメオとジュリエット」はシェークスピアの書いた同名の戯曲を題材にした管弦楽曲です。曲は3つのテーマ(動機)からできあがっていて、それらがいろいろな楽器群によって演奏され、からみあって曲が進んでいきます。最初にクラリネットとファゴットで提示される「運命のテーマ」、一転してオーケストラ全体で演奏される「戦いのテーマ」、コール・アングレから始められる「愛のテーマ」が基本となるのですが、これらが順次他の楽器にうつがれ、曲の中間部では金管楽器による「運命のテーマ」、弦楽器とフルートによる「愛のテーマ」が印象的にくり返されます。この手法はチャイコフスキーの他の管弦楽曲でも使われていますが、この「ロメオとジュリエット」はよりわかりやすい構成となっています。最後は弦楽器とハーブによる静かな「愛のテーマ」のあと、急激なクレッシェンドがあり、4小節間のオーケストラ全体による強奏で曲が結ばれます。

3 「白鳥の湖」から

P.I.チャイコフスキー

チャイコフスキーは、生涯に3つの優れたバレエ音楽を残していますが、その中で最初に書いたのが、この「白鳥の湖」です。

今日でこそ、最も有名で、バレエの代名詞とも呼ばれていますが、1877年、モスクワのポリシヨイ劇場で行なわれた初演は完全な失敗でした。その頃のバレエ音楽は、何れも類型的で、単なる踊り手の伴奏音楽の域を出るものがありませんでした。ところが、彼の音楽は、劇の進行と登場人物の性格によくあつた、大変新しくかつ交響曲なもので、当時の聴衆の耳には、ついていけなかったのだらうと思われます。

初演から17年、チャイコフスキーが永眠した翌年、名振付師によって蘇演され、驚異の大成功をおさめ、やっとその真価が認められました。こうして、彼が完成させたバレエ音楽の伝統は、後にストラヴィンスキーやハチャトゥリアン、プロコフィエフ等によって受け継がれ、みごとに花を咲かせたのです。

交響曲 第9番 木短調 「新世界より」

A. ドヴォルザーク

A. ドヴォルザーク (1841~1904) はボヘミアの片田舎の肉屋の息子として生まれました。彼はスメタナの後輩にあたり、チェコスロヴァキアの国民主義音楽の推進に大きな貢献をした作曲家です。彼がニューヨークに滞在した時、アメリカの民謡の中で、特に黒人霊歌やインディアンの歌などに興味を示しました。そして、この中に感じるアメリカの精神を自分なりの音楽にしようと考え作曲されたのが「新世界より」です。この作品は、ベートーヴェンの「運命」やシューベルトの「未完成」などとともに入『世界の6大ポピュラー交響曲』の一つに数えられ、多くの人々から親しまれています。

この曲は4楽章から構成されています。第1楽章はチェロの低く瞑想的な旋律で始まり、全合奏によるフォルテッシモまで高まると、有名なホルンのテーマが現われます。これに第2テーマが、東欧的な節回しの中にも、黒人霊歌を暗示しているようなト短調で対比します。第2楽章は短い序奏のあるロンド形式で、望郷にも似た哀愁と美しい叙情にあふれる、最も有名な楽章です。この楽章中で歌われる「家路」のメロディーは、神秘的なイングリッシュ・ホルンの響きによって一層効果が高められています。第3楽章のスケルツォは、素朴ながらも生き生きとした舞踏的リズムによる力強い第1部と、明るく楽しげなトリオの部分が絶妙な対比を作っています。第4楽章は、9小節の序奏が急激に盛り上がると、そのままトランペットとホルンが力強く第1テーマを奏で始めます。これは行進曲風な曲想となって高まり、続いて優しい第2テーマがその緊張をときほぐすかのように現れます。その後、曲は次第に盛り上がり、今までの全ての楽章の素材が引用され、壮大なクライマックスをもって終わります。

市川交響楽団

市川交響楽団は昭和26年(1951)に設立した、千葉県内でもっとも歴史のある、アマチュアオーケストラです。

今年(1980)は創立43年を数え、現在の団員数は118名、会社員、医師、教員、自営業など、いろいろな職業の方が参加しています。

ふだんの活動は千葉県の西の端、市川市で行っていますが、機会ある毎に青少年芸術教室、移動公演などで、千葉県内各地での演奏会を行

っています。

これまでの演奏会には、安川加寿子、深沢亮子(以上ピアノ)、前橋汀子、漆原啓子(以上ヴァイオリン)、堤剛(チェロ)、外山雄三(指揮)ほか多くの音楽家をむかえ、好評を博しました。

また、兄弟団体である、市川混声合唱団、行徳混声合唱団とともに、ベートーヴェン「交響曲第9番・合唱付き」、モーツァルト「レクイエム」、「オペラ・魔笛」などの公演も行っています。



団長	村上 正治
副団長	横田 行雄
幹事	時田 雄
コンサートマスター	松山 和子
総務	塚越 康央
管・打楽器チーフ	木村 純一
会計	石本 恵理
報	木村 真諭紀
画	堤 哲児
外	嶋村 恒夫
務	中村 公一
局	亀井 玲子
事	半藤 嗣人
管	高橋 行継

Violin I

生山 陽
鈴木 薫
鈴木 淳子
竹内 甲
永田 匡
福原 祥子
横田 佐貴絵
横田 富美子
角川 総一
堤 紀子
松山 和子

Violin II

石井 久雄
石本 恵理
岩田 徳子
亀井 玲子
須永 恒雄
堤 哲児
根守 弘
久し け子
深沢 武夫
村上 葉子

Viola

遠藤 満里 1
斎藤 十一郎 2
高橋 行継 3
星 乘昭 4
松山 俊子 5
村上 賢一 6
横田 行雄 7
若林 繁子 8
渡部 玲子 9
佐藤 尚子 10
竹内 ひとみ 11

Violincello

倉沢 由和 1
瀬川 清扶 2
田頭 公一 3
中村 公一 4
南明 由美子 5
樋口 進 6
福原 耕二 7
横田 朝之 8
渡辺 潔 9

Contrabass

菊池 克彦
鈴木 重則
村上 信乃
山本 和広
季 隆子

Flute & Piccolo

木村 純一
木村 真諭紀
佐藤 洋行

Oboe

荒井 淳
大坪 昌彦
二村 直子
字田川 知子

Clarinet

多田 準也
吉野 智久
一瀬 直美

Bassoon

小島 厚
戸川 安道

Horn

塚越 康央
近藤 利昭
嶋村 恒夫
坂東 朋子
藤井 茂司
山本 恭子

Trumpet

安藤 宣明
一桝 泰一
新井本 昌宏

Trombone

久保 昭
糸 秀樹
梶谷 妙絵
藪崎 裕至

Tuba

渡辺 鉄雅

Percussion

岩崎 正治
丹羽 祐子
木村 範
都筑 裕

Handwritten notes and signatures in the bottom left corner, including the name '石本 恵理' circled in red.

江戸川フィルハーモニーオーケストラ

江戸川フィルハーモニーオーケストラ(略称・江戸フィル)は、1985年11月に区内在住の音楽関係者を中心として結成され、同年12月、江戸川区音楽祭において、チャイコフスキー「くるみ割り人形」の演奏で、足跡の第一歩を踏み出しました。

翌86年9月には、故山田一雄氏の指揮で第一回定期演奏会を開催し、その後も毎年著名な指揮者・ソリストを迎えて定期演奏会を開催しています。

また、一昨年は「区民による第九を歌う会」が

結成され、大町陽一郎氏の指揮でベートーヴェン・第九に取組み、大好評を博しました。

現在は、定期演奏会をはじめフレッシュコンサート、親子コンサート、江戸川区音楽祭、その他区主催行事への参加等、幅広く活動しています。

オーケストラ自体も新しく、またメンバーも若い人が多いせいか、夏の山中湖で行う合宿では即席編成のアンサンブルで大いに盛り上がり、忘年会では各パートごとの大カラオケ大会となる、和気あいあいとしたオーケストラです。



団 長 福井 豊信
副 団 長 國井 義弘
音 楽 監 督 似鳥 健彦
ア ド バ イ ザ ー 佐久間 英夫
事 務 局 長 竹内 正男
庶 務 ・ 会 計 井上 文子
柳田 伊瑳子
会 計 監 査 佐藤 悠二
中村 光作
古宮 朋子
コンサートマスター 桂 万里
サブ・コンサートマスター 可香谷 尚三
インスペクター 守時 徹

Violin

伊東 千絵
小川 有美子
織田 千穂
桂 万里
柔島 巽
小林 真知子
古宮 朋子
笹沢 幸生
市東 洋子
城田 礎
竹内 正男
垂水 謙太郎
中村 光作
平野 洋子
福井 康祐
柳河 みちこ
柳田 尚美
山口 真津子
山田 泉
飛田 真美(団友)

Viola

大江 利道
可香谷 尚三
加藤 一真
熊谷 容子
後藤 啓一
中沢 恵美子
佐賀 日出夫
市田 信子(団友)
中村 智恵(団友)

Violincello

石田 晴彦
川崎 義人
木藤 浩司
篠田 恵留子
中村 哲也
佐々木 はな(団友)
佐藤 千鶴子(団友)

Contrabass

石原 寿乃
小川 文男
佐藤 猛
三輪 哲也

Flute & Piccolo

小川 真美
船橋 信行
三輪 弦子

Oboe & English Horn

小澤 恭司
佐藤 千香
寺嶋 耕一

Clarinet

家木 真一郎
石井 千夏乃
別所 孝子

Bassoon

原口 毅弘
原口 忠博
古屋 文弘

Horn

斎藤 小枝子
浪上 晴雄
西村 征一郎
穂苅 純一
細木 茂
増田 稔

Trumpet

北村 芳嗣
佐藤 佐保里
竹部 とも子
塚田 茂
デミアン・テイラー

Trombone

菅原 幸子
根本 秀樹
守時 徹
渡辺 勉

Percussion

井上 満智子
佐藤 こそえ

葛飾フィルハーモニー管弦楽団

葛飾フィルハーモニー管弦楽団は1990年11月1日に、葛飾区文化振興財団の呼びかけに応じて、区民の音楽愛好者が集って結成されました。

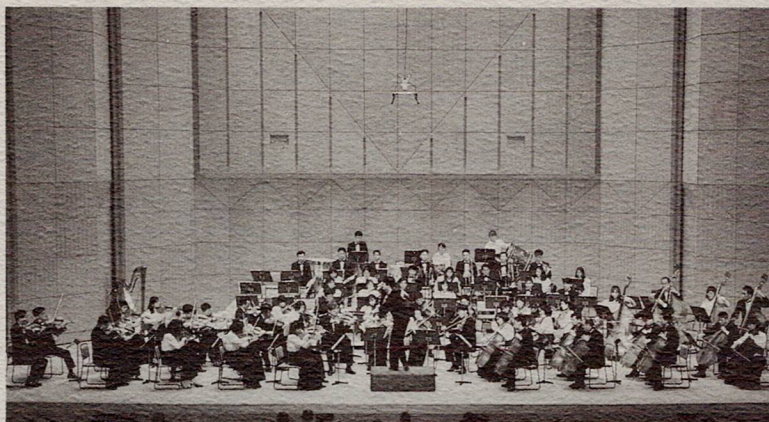
当時建設中のシンフォニーヒルズでのステージを目指して、区立学校などで1年半の練習と活動を経て、1992年に念願のシンフォニーヒルズオープニング記念演奏会を開催。

設立当初から、顧問の澤和樹氏（東京芸術大学助教授）をはじめとする優秀な指導陣に恵まれているのが、当楽団の大きな特色であり、シン

フォニーヒルズを拠点として、毎週楽しくも厳しい練習を重ねています。

1993年には、葛飾区民合唱団のデビューコンサートで《メサイア》を公演し、大好評を博しました。

まだまだ歴史の浅いオーケストラですが、年2回の定期演奏会のほかにも、学校や福祉施設への訪問演奏会など、徐々に活動の幅を広げており、「わかまちのオーケストラ」としてより一層区民に親しまれるよう願っています。



顧問 澤和樹
 団長 山本 広和
 副団長 森田 整
 運営委員長 江田 健司
 技術委員長 嶋村 恒夫
 コンサートマスター 大谷 幹子
 インспекター(弦) 平山 顕
 インспекター(管) 小島 克友
 演奏会実行委員長 東間 ゆりか

Violin I

裏 俊男
 大谷 幹子
 関口 明子
 田上 典子
 中西 文男
 沼野 麦葉
 菱部 純子
 武者 薫
 大矢 佳司
 岡本 和子
 小久保 明
 坂井 規子
 千葉 裕子
 西 寛
 吉岡 千鶴

Violin II

荒川 奈月
 佐藤 欣三
 柴 貴子
 高橋 あさ子
 玉村 栄子
 東間 ゆりか
 水野 徳次
 渡辺 崇子
 岡本 政幸
 神谷 安紀子
 白石 裕子
 田中 愛子

Viola

沼田 美恵
 野部 実
 平山 顕
 松崎 淳子
 水野 由里
 市村 邦一
 島田 順
 東間 かつお
 米倉 康行

Violincello

石田 聖子
 倉方 広樹
 宮越 肇
 稲村 清行
 河名 万千子
 玉井 慎一
 山本 進

Contrabass

伊藤 智深
 小池 貴美子
 嶋田 登代治
 宮本 彰
 山本 広和
 石橋 俊一

Flute

神谷 真理子
 小池 聡子
 野本 あゆみ

Oboe

奥園 加代
 鹿島 淳子
 嶋谷 賢治
 藤原 孝一

Clarinet

高森 繁
 田中 由郁子
 宮田 房枝
 森 由美子

Basson

海老沢 明子
 西村 周作
 古屋 文弘
 森田 整

Harp

毛利 沙織
 (賛助出演)

Horn

大高 奈穂子
 嶋村 恒夫
 須賀 良江
 穂苅 純一
 宮下 秀夫
 秀田 安高

Trumpet

石井 憲一
 今井 道隆
 江田 健司
 小池 正浩
 柳田 光宏
 渡辺 隆太

Trombone

井上 裕美子
 太田 愉弘
 片岡 久子
 小島 克友
 当間 雄之
 田口 博幸

Percussion

青木 佳奈恵
 木村 かくよ
 盛 真澄
 友部 ひろこ
 田口 伸子